

新型コロナ対策
第4次補正予算

医療体制整備や経済対策などに759億円

検査・医療体制の拡充、抜本的な事業者支援を



達増知事に新型コロナ対策に関する第4次申し入れを行う党県委員会と県議団（8月6日）

国内では感染拡大の第二波を迎え、岩手でもこれまでに23人
の感染者が確認（9月23日現在、
全員退院されましたが、感染状
況と検査体制について質問。達増
知事は「感染拡大の警戒が必要で
あり、濃厚接触者に
限らず、感染が疑わ
れる者にも検査を実
施して早期に感染者
を発見し、感染拡大
を防止する」と答え
ました。また、イン
フルエンザ流行期に
向けた検査体制につ
いて野原保健福祉部
長は「地域の医療機
関で新型コロナウイルスとイ
ンフルエンザの検査
を同時に行うために
体制整備を進めてい
くと説明しました。



ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会のみなさんが達増知事に20万筆達成を報告（9月17日）

県生協連の吉田敏恵専
務理事は、岩手の会結成
から4年足らずでこれだ
けの署名が集まったこと
は関心の高さの表れだと
強調し、核兵器廃絶まで
取り組みを進めていくと
話しました。
達増知事は「コロナ禍
でみなさんの活動が困難
になる中で、20万人の署
名を達成したことは素晴
らしい。最近ではアメリカ
でも『原爆投下は良くな

医療機関の減収補てんを国の責任で

1泊当たり3千円補助のクーポンを実施

8月6日、日本共産党岩手県委
員会と県議団は達増拓也知事に
たいし、新型コロナ対策のさらな
る強化を求める第四次申し入れ
を行いました。PCR検査体制を
拡充し、県立病院など医療機関の
減収補てんを国に求めること、
「地元の宿応援割」第二弾などの
事業者支援、コロナ禍での少人数
学級の実現、消費税5%減税など
を求めました。

～9月定例県議会傍聴のご案内～

**10月8日(木) 斉藤県議が一般質問
(3人目の登壇 午後4時ごろ)**

- 9月29日/県議会開会
- 10月6～8日/本会議・一般質問
- 10月9日/各常任委員会
- 10月13日/本会議
- 10月14～23日/決算特別委員会
- 10月27日/最終本会議

ご意見・ご要望お気軽にお寄せください

さらに、新型コロナに伴う病床
確保や受診抑制で医療機関は大
幅な減収だと強調。県立病院での
年間81億円の減収には40億円
の融資で対応しますが、国が予備
費を使って補てんするべきだと
指摘。達増知事は「全国知事会な
どを通じて国に支援を働きかけ
る」と答えました。
第4次補正予算では、2種類の
貸付金が計505億円増額され
たことは重要ですが、県が毎月行
っている事業者のアンケート調
査では、7月の売り上げが「前年
比41%以上減少」と回答した事
業者が34%に達しており、抜本
的支援を求めました。雇用調
整助成金の活用は重要ですが、7月の事業者の
影響調査結果では、雇用調整助
成金を活用した事業者は22・3%
にとどまっており、幅広い事業者
が積極的に活用できるような改善
を求めました。
また、今回の補正予算では、10
月から県内の宿泊施設の利用で1
泊当たり3千円を補助する新たな
「泊まるなら地元割クーポン」を、
岩手県民と東北・新潟の各県民を
対象に実施します。

ヒバクシャ国際署名が県内20万筆を突破

9月17日、ヒバクシャ国際署
名をすすめる岩手の会は達増拓
也知事を表敬訪問し、岩手県内で
20万3千3百筆余の署名が集ま
ったことを報告しました。県被団
協の伊藤宣夫会長や三田健二郎
副会長など11人が参加し、斉藤
県議も同席しました。
伊藤会長は「2017年2月
に達増知事が署名に賛同したこ
とが、県内全33市町村長の賛同
(2019年)や20万筆の達成に
大きな力を発揮した」と感謝の言
葉を述べました。

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

2020年10月 No. 171
発行：日本共産党岩手県議団事務局
斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6
日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信のホームページ
<http://www.saito-shin.sakura.ne.jp/>

4野党合同街頭演説 第3弾



9月5日、安倍首相の辞任表明によって政局が不安定で流動的な局面を迎える中、県内の4野党は盛岡駅前第三弾となる合同街頭演説を行いました。(写真左から斉藤県議、中村起子立憲民主党県連合幹事長、木戸口英司・横沢高徳国民民主党参院議員、小西和子社民党県連合代表)

県立高校バレ一部員自死事件—第三者委が調査報告書 顧問教師の暴言、県教委・学校の対応の問題を指摘

盛岡市内の中学校陸上部顧問のパワハラ問題 事実を明らかにし、厳正な処分を求める

7月22日、県立不来方高校バレ一部員の自死事件に関する第三者委員会の調査報告書が県教委に提出され、8月4日の文教委員会でも質疑に立ちました。報告書では、顧問教師が当該生徒に対して「お前はバカか」「もうバレするな」などの暴言・叱責の内容が具体的に示され、自死の一因となったこと、顧問教師と学校長が、文科省などの部活動ガイドラインの内容を認識していなかった問題などが指摘されています。また県教委の対応については「前任校での顧問の暴言・暴行が、裁判や県教委の調査でも明らかにされたものの、再発防止を怠ったことが、当該校長の十分な監督・指導につながり、本件事案へとつながった可能性は否定できない」と認定されています。



文教委員会で質疑に立つ斉藤県議 (8月4日)

佐藤県教育長は「報告書の内容がすべてが大変重いものと受け止めている。夢を持っていた生徒がなぜ自死に至らなければならなかったのか、忸怩たる思いだ。再発防止に向けしっかりと議論したい」と答えました。斉藤県議は、顧問教師の厳正な処分と、再発防止「岩手モデル」策定委員会に遺族推薦の



白水総務部長に要請する内丸第一・第二町内会、東大通商業振興会のみなさん

県職員の昼休み時間の柔軟な運用を

9月18日、桜山・内丸界隈の町内会と飲食業の方々が達増知事宛に「新型コロナウイルス感染拡大防止対策と地域経済対策としての休憩時間運用についての要望書」を提出。県職員の昼休みを11時から14時の間で選択制とするよう要望しました。

今年度27校の県立高校にエアコンを設置

県教育委員会は、県立高校の普通教室と職員室へのエアコン設置を、今年度は当初の14校から前倒しして27校で整備します。対象は県南地域の14校と1学級40人程度の大規模校13校で、すでに設置済みや調整中の学校と合わせ全県立高校の半数に当たる33校で整備されます。

久慈市で東日本大震災津波9年のつどい



パネルディスカッションでコーディネーターを務める斉藤県議(右)

久慈市で東日本大震災津波9年のつどいが開かれました。遠藤謙一久慈市長が記念講演。大震災や台風災害からの復興、新型コロナ対策、安全・安心のまちづくりの取り組みなどについて話されました。パネルディスカッションでは、被災者支援や生業の再生など復興の現状と課題について討論しました。

暑さは生徒と教職員の命と健康に関わる問題であり、残る33校についても来年度中に整備するぐらいのことが必要ではないかと求めました。佐藤教育長は「今年一番の暑さを記録した日に学校訪問した際、学校はサウナ状態で、生徒も先生方も大変苦労していた。可能な限り早期に整備できるように財政局とも相談しながら対応したい」と答えました。

無料法律相談
～弁護士が相談に応じます～

- ・11月11日(水)午後6時～
- ・12月9日(水)午後6時～

予約電話番号: 651-5881

無料生活相談
毎週土曜日 10時～12時
場所: 斉藤信事務所

日	内容
7月17日	岩手県農協労働定期大会
7月18日	2020年地方自治研究集会
7月22日	県立高校における生徒自死問題第三者委員会報告書についての会見報告集会
7月25日	東日本大震災津波救援・復興県民会議9年のつどい(久慈市)
7月27日	公開講座「障がい者福祉」
7月31日	盛岡市立病院院長と懇談
8月3日	県議会災害対策本部会議
8月4日	文教委員会、第7回野党共同調整会議
8月5日	地域医療確保特別委員会、県政調査会
8月6日	復興特別委員会、達増知事に新型コロナウイルス対策第4次申し入れ
8月7日	県教育長に盛岡市内の中学校における顧問教師によるパワハラ事件について申し入れ
8月9日	4野党合同街頭演説(県革新懇、国会報告・要請を聞く会)
8月15日	終戦記念日街頭宣伝、30人学級を実現する岩手の会再開準備会での情勢報告
8月17日	高校再編後期計画案の盛岡ブロック①地域検討会議
8月22日	全県地方議員研修会
8月23日	滝沢北部後援会のこと
8月28日	岩手県社会保険労務士会会長と懇談、高校再編後期計画盛岡ブロック②地域検討会議
8月31日	講演、岩瀬前岩手大学学長退任記念講演会
9月1日	文教委員会
9月2日	地域医療確保特別委員会、県政調査会、第8回野党共同調整会議
9月3日	講演、臨時県議会議案説明会
9月4日	川久保病院事務局長・介護部長と懇談
9月5日	県生健会・盛岡生健会50周年のつどい、4野党合同街頭演説
9月8日	講演、臨時県議会
9月9日	文教委員会調査(盛岡とたん東支援学校、葛巻町)
9月10日	文教委員会調査(遠野緑峰高校、大船渡B.M.C)
9月11日	県政要望を聞く会
9月12日	新庄地区県政・市政報告と党を語るつどい
9月15日	旧盛岡跡地解体工事説明会
9月17日	県労働委員会労働者委員の選任問題で商工労働観光部長への申し入れに同席、ヒバクシヤ署名を進める岩手の会が達増知事に20万筆達成を報告
9月18日	講演、議案説明会、内丸町内会等の県庁の昼休み時間の運用改善を求める要望に同席

斉藤信のパワフル活動日誌